

学会主要記事

1) 正会員総会

1. 平成20年4月16日(木)、本学大会議室において開催され、平成19年度決算及び事業報告、平成20年度予算及び事業計画を承認し、平成20年度学会長、理事を選出した。

2) 理事会

1. 平成20年4月23日(木)本学学会室において開催され、平成20年度事業担当者、論集印刷業者を決定し、論集刊行部数、論集文中タイトル掲載の仕方について審議した。
2. 平成20年5月21日(木)本学学会室において開催され、論集執筆者、学術講演会講師、研究会報告者が決定した。
3. 平成20年7月16日(木)本学学会室において開催され、論集執筆者、「学びへのいざない」の執筆者が決定し、研究会報告者、コメンテーター、「学びへのいざない」編集者に対する謝金について審議した。
4. 平成20年9月17日(木)本学学会室において開催され、学術講演会講師が決定し、今年度で退職される先生への記念品について審議し、また、研究会報告者、コメンテーター、「学びへのいざない」編集者に対する謝金について継続審議した。
5. 平成20年10月15日(木)本学大会議室において開催され、論集執筆者、学術講演会講師が決定し、過去の学会誌保存についてとゼミ論文集刊行補助について審議した。
6. 平成21年3月2日(月)本学学会室において開催され、論集執筆者が決定した。

3) 機関誌

「高崎経済大学論集」第51巻第1号、2号、3号、4号（中村忠教授退職記念号）、別冊「学びへのいざない」を年度内に刊行した。

高崎経済大学論集

第51巻 第1号

平成20年6月

目次

〔論文〕

蚕種統一政策と県立農業研究施設の再編

―群馬県の事例を中心に― 富澤 一 弘
江 崎 哲 史

中小・ベンチャー企業に対する金融支援体制と技術評価 今野 昌 信

Use of citation forms in academic texts by writers in the L1 & L2 context 岡村 晃 子

ビジネス・インキュベータにおける柔軟さの必要性 関根 雅 則

戦後中国の経済復興政策とアメリカの援助（下）..... 大石 恵

「産業持株会社」の研究；王子証券のケース（2）..... 加藤 健 太

ロシア語テキストにおけるアスペクトの時制

テキスト内の臨場感―〈私・今・ここ〉―の創出（試論） 榎尾 頌 子

事業型非営利法人の事業スキーム組成上の問題点と

非営利協同組合理型ノンバンクの必要性についての考察 前田 拓 生

〔研究ノート〕

バス車内での人間行動 久宗 周 二

第51巻 第2号

平成20年9月

目次

〔論文〕

株式交付費の会計 池田 幸 典

昭和恐慌と綿糸紡績業の企業合併

―東洋紡績と大阪合同紡績のケース― 加藤 健 太

『総房共立新聞』からみる千葉県の自由民権運動と教育

―自由民権派地方新聞の教育論― 任 鉄 華

飲食サービスとホスピタリティ

―カウンターでのサービス提供に関する一考察― 徳江 順一郎

〔研究ノート〕

最低賃金と雇用に関する最近の研究動向 …………… 石 井 久 子

バス経営体の安全に関する研究 …………… 久 宗 周 二

〔書 評〕

トーマス・ビアステーカー他編著

『国際法と国際関係論—理論と実務の架橋』 …………… 竹 内 雅 俊

第51巻 第3号

平成20年12月

目 次

〔論 文〕

石田梅岩に見る儉約・布施の真意 …………… 山 崎 益 吉

わたらせ渓谷鉄道とその沿線地域の変遷にみる諸問題と考察 …………… 大 島 登志彦
劉 智 飛

The Fall-Rise Tone in English …………… 湯 澤 伸 夫

初年次教育におけるアカデミック・リテラシー教育の

位置と大学教育の問題点 …………… 高 松 正 毅

自主改善によるライフジャケットの着用推進に関する研究 …………… 久 宗 周 二

成熟経済の資金循環における「社会的企業」の役割についての考察 …………… 前 田 拓 生

〔研究ノート〕

中台分断前後の民間航空 …………… 大 石 恵

〔講演抄録〕

企業の社会的責任の課題

—— 過去・現在・将来 —— …………… 小 林 俊 治

貿易自由化の再検討

—— 経済学的視点から —— …………… 阿 部 顕 三

〔審査報告〕

学位論文の要旨及び審査結果の要旨

第51巻 第4号

平成21年3月

中村忠教授退職記念号

目 次

中村忠教授退職記念号発刊に寄せて	吉 田 俊 幸
中村忠教授退職記念号発刊に寄せて	石 川 弘 道
中村忠教授退職記念号発刊に寄せて	大 宮 登
中村忠教授退職記念号発刊に寄せて	矢 野 修 一
中村 忠教授 略歴および研究業績	

〔論 文〕

入会権の帰属主体とその法的構造についての

学説史的考察（その一）	中 村 忠
地方分権と自治体財政健全化法	加 藤 一 郎
新経済地理学の理論体系（1）	北 條 勇 作
市場社会のスプリット	岡 田 和 彦
経営戦略の構築と実施におけるCSRのポジショニング（1）	
——「CSRと利益」との関連において——	潜 道 文 子
組織構造の集権化次元の測定尺度について	藤 本 哲
「社会的企業」におけるインセンティブ問題についての考察	前 田 拓 生

〔研究ノート〕

クローズド・ループ・サプライ・チェーン・モデルの提案	石 川 弘 道
論文本論における「配列」と「構成」に関する一考察	
——山田ズーニーの論拠の配列順をめぐって——	高 松 正 毅

〔退職記念講演抄録〕

入会林野の現状と入会権研究の動向とその課題	中 村 忠
-----------------------------	-------

〔講演抄録〕

市民生活と法

—— 役務（サービス）提供契約の多様化と消費者被害の救済 ——	長 坂 純
企業と国際貢献	吉 川 真由美

〔学会記事〕

学会主要記事

4) 学術講演会は下記のとおり催行した。

1. 平成20年7月9日(水)

小林 俊治 (早稲田大学商学大学院教授)

「企業の社会的責任の課題－過去・現在・将来－」

2. 平成20年7月24日(水)

阿部 顕三 (大阪大学大学院経済学研究科教授)

「貿易自由化の再検討－経済学的視点から－」

3. 平成20年11月26日(水)

長坂 純 (明治大学法学部教授)

「市民生活と法－役務 (サービス) 提供契約の多様化と消費者被害の救済－」

4. 平成20年12月4日(木)

吉川真由美 (国連女性開発基金 日本国内委員会理事)

「企業と国際貢献」

5) 退職記念講演会は下記のとおり催行した

1. 平成21年1月14日(水)

中村 忠 (高崎経済大学経済学部)

「入会林野の現状と入会権研究の動向とその課題について」

6) 研究会は下記のとおり催行した。

1. 平成20年7月2日(水)

① 國分功一郎 (本学経済学部講師)

「考えることとは何か－ジル・ドゥルーズにおける思考の概念－」

② 伊藤 宣広 (本学経済学部講師)

「ケンブリッジ学派と現代」

2. 平成20年11月5日(水)

① 山崎 薫里 (本学経済学部准教授)

「位相数学の考え方」

3. 平成20年12月10日(水)

①佐藤 綾野 (本学経済学部講師)

「各国連銀のマクロ計量モデルのサーベイ」

②宮田 庸一 (本学経済学部講師)

「有限混合モデルの教育評価への応用」